

一般質問 保育所の入所通知の迅速化について

松成 国宏(公明党議員会)

質問 現在、保育所への入所の決定が1週間前であるなど、入所までの時間が非常に短く、準備するのに大変であるとの声を保護者から耳にする。入所通知の迅速化はできないのか。

答弁…市民部長

保育所の新年度当初の入所については、毎年12月から年明けの1月にかけて募集を行い、入所の通知書については、3月中旬頃に各家庭に送付しています。また、年度途中の入所の場合は、入所の前月の20日頃に通知を発送しており、他市の状況を調査したところ、概ね同様であると同っています。

保育の実施においては、児童福祉施設法に基づき最低基準を満たす必要があります。とりわけ職員数については、児童の年齢ごとに保育士の配置基準が定められており、基準を超える入所ができません。

そうしたことから、本市においては、保育所への入所決定に当たり、各保育所の職員の採用又は退職の状況、入所児童の急な退所、緊急に保育の実施を要する児童の申し込み状況等を最終まで見極め、調整を行っており、できるだけ保護者の希望に添えるよう、また、不公平が生じないよう努めているところです。

入所通知の迅速化については、保護者の方々にご心配をおかけしないよう、事務処理の効率化や迅速な情報収集等により、なお一層の迅速化に努めていきたいと考えています。

障がい児保育の現状について

松成 国宏(公明党議員会)

質問 ダウン症の子供の受け入れなど、本市の障がい児保育の現状は、どのようになってきているのか。

答弁…市民部長

障害児保育については、現在、市内の私立・公立13園すべての保育所で実施していますが、障害の判定については非常に難しい面もあり、基本的には、医師の判断により集団生活が可能であると認められた場合、また、それが望ましいとされる場合は、保護者と話し合い、相互理解のもと、受け入れを行っています。

また最近では、自閉的傾向の子供、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、発達遅滞、言葉の遅れ、肢体不自由など、障害の種類は多様になっており、障害児として認定に至らなくても、また診断名がついていなくても、支援や配慮が必要な児童が増加してきています。それらの児童を含めると、現在、市内各保育所で約50名程度が在籍しているとの報告を受けています。

こうしたことから、本市では、各保育士が障害児保育に対し、より深い知識や技術を身につけ、適切な保育ができるよう、関係研修会に参加させ、資質向上を図っているほか、子供たちの健やかな育ちを願いつつ、きめ細やかな保育に努めているところですが、

今後とも、医療機関・療育機関との連携を保ちながら、障害児保育の推進に取り組んでいきます。

室町谷内線について

葛西 吉弥(黎明)

質問 室町谷内線の事業の進捗状況及び総事業費について伺う。

また、市長は、この事業の第2期及び第3期の工事をどのようにしていくつもりなのか。

答弁…市長

室町谷内線については、すでに整備に着手している延長73mの交差点区間については、予定通り完成させることが最も望ましいと考えています。

一方、残区間の整備については、今後、関係者の皆様や議会とも協議をさせていただきながら、方針を決定していきたいと考えていますので、早い時期に皆様方との話し合いの機会を設けたいと思っています。

答弁…都市建設部長

室町谷内線は、平成19年8月に都市計画決定し、第1期の整備区間として、県道高松善通寺線から南へ73mの区間について事業認可を受け、平成19年度から平成23年度までの5カ年事業として、現在、整備を図っているところです。

進捗状況については、事業費約5億5000万円に対し、過年度において、すでに5000万円を執行しており、内容としましては、主に用地・補償費及び測量・試験費です。

今年度も、前年度からの繰り越しを含めて、約2億4000万円の予算執行にほぼ目途が立っており、すでに6月には補償契約1件が締結されています。